

番号：160075

国名：全世界

担当：地球環境部環境管理グループ環境管理第二チーム

案件名：下水道事業支援業務（下水道・水質汚濁対策アドバイザー業務）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：下水道事業支援業務
- (2) 格付：2号
- (3) 業務の種類：その他

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2016年4月下旬から2017年3月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 5.25M/M、現地 2.70M/M、合計 7.95M/M
- (3) 業務日数：

国内作業	現地業務
105日	81日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：4月6日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ（ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出について」(http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html) をご覧ください。
なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験 8点
 - ③語学力 16点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務	開発途上国における下水道分野のODA事業に係る案件形成、運営管理、事業評価等の各種業務
対象国／類似地域	途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本業務に参加する法人及び個人は、別添1の表に記載の新規案件の本体事業への参加を認めません。

また、別添1記載のある実施中案件においてJICAと既に業務契約関係のある法人及び個人は、当該案件を本業務対象から除外し、他の業務を付加するものとする。

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務概要

(1) 背景

JICA では、開発途上国の下水道分野における開発目標の達成を支援するため、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を実施している。現地の開発課題の解決に資する協力の案件形成から実施中の事業監理/モニタリング、事業評価まで、一連のプロジェクトマネジメントを行っている。施設・機材の整備を中心とした有償資金協力及び無償資金協力においては、施設規模や機材選定の妥当性、事業内容・事業計画等の業務を行っている。これら案件の管理は、主に地球環境部環境管理グループが主管する。

これら案件の監理及び途上国側カウンターパート機関に対する指導・助言には、下水道分野の技術的、法制的、財政的等の知識・経験が必要となるため、当該分野に知見を有する外部人材を備上することとなった。

(2) 事業の目的

下水道分野の開発途上国支援事業の案件形成、実施監理、事業評価において、JICA に対して高い技術的専門性に基づく技術支援業務を行うと共に、途上国側カウンターパート機関に対して助言を行うことを目的とする。

(3) 業務の期間

2016年4月下旬から2017年3月下旬

7. 業務の内容

本業務従事者は、JICA地球環境部に対して、別添1記載の下水道分野の開発途上国支援事業にかかる案件形成、実施監理、事業評価において、高い技術的専門性に基づく技術支援を行うと共に、途上国側カウンターパート機関に対して助言を行う。

具体的には以下の業務を行う。業務対象案件毎の現地業務スケジュール(目安)と現地及び国内での主な業務内容を別添1に示す。なお、これら対象案件の進捗より業務内容と時期は変更となることがあり、適宜JICAと協議の上、業務を行う。

(1) 国内業務 (JICAに対するアドバイス業務)

① 案件形成・案件立上げ

- 要請のあった案件及び正式要請前の案件に関し、その内容を精査し、技術面において案件実施の必要性・妥当性、有効性、効率性を審査し、コメント・助言を行う。
- 基本計画調査、詳細計画策定調査、協力準備調査にかかる対処方針資料に対し、技術的観点においてコメント・助言を行う。コメント・助言に必要な資料を作成する。
- 資金協力案件(有償・無償)においては、協力準備調査の調査項目、コンサルタント要員配置計画、調査費用の積算に関してもコメント・助言を行う。
- 民間連携・草の根技術協力事業・SATREPS等の提案型事業においては、プロポーザルの内容を精査し、技術的観点においてコメント・助言を行う。コメント・助言に必要な資料を作成する。

② 実施中案件の監理・モニタリング

- 各案件の専門家より提出のある各種報告書に対し、技術的観点においてコメント・助言を行う。
- 専門家との打合せやその他関係者を含む各種会合に参加し、技術的観点よりコメント・助言を行う。コメント・助言に必要な資料を作成する。

③ 事業評価

- 実施中案件の中間段階、終了段階、或いは案件終了後の事後評価実施段階において、評価調査にかかる対処方針資料及び各種報告書に対して技術的観点よりコメント・助言を行

う。

- また、これら評価業務にかかる各種会合に参加し、技術的観点よりコメント・助言を行う。コメント・助言に必要な資料を作成する。

(2) 現地業務（JICA及びカウンターパートに対するアドバイス業務）

① 案件形成・案件立上げ

- 協力準備調査、案計画策定調査、情報収集・確認調査に参加する。案件要請のあった途上国政府側関係者との協議への参加、現場視察を通じて、技術的観点よりJICAに対しコメント・助言を行う。
- 先方政府カウンターパート機関のメンバーに対して、要請案件実施の妥当性・有効性・効率性の観点より、また下水道技術の観点より助言を行う
- また、必要に応じてコメント・助言に必要な資料を作成する。

② 実施中案件の監理・事業評価

- 中間・終了時の評価調査、運営指導調査に参加する。評価調査にかかる各種報告書に対して技術的観点よりJICAに対しコメント・助言を行う。
- プロジェクトの効率的・効果的实施に向け、先方政府カウンターパートメンバー、或いは各案件の専門家に対して助言を行う。また、指導・助言に必要な資料を作成する。

③ 現地業務後

- 現地業務を行った案件毎に現地調査報告書を作成し、JICAへ報告・提出する。

(3) JICA職員に対する下水道分野の課題対応能力支援業務

- JICA下水道タスクの活動として、定期勉強会/セミナー、現場視察、下水道事業に係る執務参考資料等の作成を行っている。JICAの職員の人材育成の観点に立って、どのようなテーマの勉強会/セミナー或いは見学会が有効か検討の上、実施に向けた助言・サポートを行う。
- また、下水道分野の協力事業に係る執務参考資料として、ポジションペーパーの作成支援を行い、内容の専門的な解説を勉強会を開いて行う。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は「(3) 業務完了報告書」とする。

- (1) 月次活動報告書（A4、1ページ程度：毎月提出）
 - (2) 現地業務報告書（A4、1ページ程度：現地業務の結果を現地業務毎にその都度提出）
 - (3) 業務完了報告書（A4、5ページ程度：2017年3月に全体活動の総括報告書を提出）
- 上記(1)～(3)については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「コンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

現地業務にかかる航空賃及び日当・宿泊料等は、別添1に記載の現地業務対象国をもとに見積書に計上すること。但し、別添1記載案件の中には対象国が特定できていない国もあるため、その場合は「ケニア（ナイロビ）」を想定して航空賃及び日当・宿泊料等を見積もること。

(2) 直接人件費月額単価

直接人件費月額単価については、2016年度単価を上限とします。

<http://www.jica.go.jp/announce/information/20160209.html>

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務量目安

目安として別添1の通り。但し、各案件の進捗により変更となる可能性があります。現地業務の日程は業務従事者とJICA地球環境部が協議の上、現地業務時期・期間を設定します。

②現地での業務体制

本業務従事者の現地派遣に際しては、JICAによる調査団メンバーとして派遣する。

③便宜供与内容

JICAによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 現地日程のアレンジ
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ
- オ) 通訳備上
通訳の提供あり
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

別添1記載の対象案件に係る案件概要は、JICAホームページをご参照。

- インド：エネルギー消費最小型下水処理技術の開発
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/04A5D32064D096FF492578100079E07B?OpenDocument>
- パレスチナ：ジェリコ下水運営管理能力強化プロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/BC9D40C35C3EABD2492579FE0079E409?OpenDocument>
- パレスチナ：ガザ地区緊急復興支援（電力・水）に関する情報収集・確認調査
http://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/20150121_141158_1_01.pdf
- ベトナム：下水道計画・実施能力強化支援技術協力プロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/D7A4DDB778B6958E49257F010079CF35?OpenDocument>
- パキスタン：パンジャブ州上下水道管理能力強化プロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/7A6CF4970EF4ADDB492576F600226B37?OpenDocument>
- パキスタン：ファイサラバード上下水道マスタープランプロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/1931D33A99A2F33649257A2B0079DA7B?OpenDocument>
- スリランカ：水質管理能力向上プロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/F0A32166DDE5D9B049257DB20079CFF4?OpenDocument>
- スリランカ：下水セクター開発計画策定プロジェクト
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/SearchResultView/A64F7FA52D9473FC49257EB50079D52D?OpenDocument>

(3) その他

①安全管理

現地作業期間中は安全管理に十分留意する。現地の治安状況については、JICA現地事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行う。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所（及び支所）と緊密に連絡を取る様に留意する。また現地作業中における安全管理体制をプロポーザルに記載する。

②不正腐敗の防止

本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に業務を行うこと。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談するものとする。

以上

別添 1：業務対象案件毎の現地業務スケジュール（目安）と現地及び国内での主な業務内容

別添1：業務対象案件毎の現地業務スケジュール（目安）と現地及び国内での主な業務内容

国名	案件名等	スキーム	現地業務の時期と期間、MM（日数÷30）	現地における主な業務内容	国内業務日数及びMM（日数÷20）	国内における主な業務内容
インド	エネルギー消費最小型下水処理技術の開発	技プロ（科学技術協力）	—	—	2日間（0.1MM）	対処方針検討
パレスチナ	ジェリコ下水運営管理能力強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	① 6月上旬9日間（0.3MM）	運営指導調査【※実施中案件の監理・事業評価に係る業務】	5日間（0.25MM）	進捗報告会出席、レポートコメント
パレスチナ	ガザ地区緊急復興支援（電力・水）に関する情報収集・確認調査	基礎情報収集調査	—	—	5日間（0.25MM）	進捗報告会出席、レポートコメント等
ベトナム	下水道計画・実施能力強化支援技術協力プロジェクト	技術協力プロジェクト	① 7月上旬8日間（0.27MM） ② 12月上旬7日間（0.23MM）	いずれの場合も、運営指導調査【※実施中案件の監理・事業評価に係る業務】及び日本の下水道制度・技術に係るセミナー講師	20日間（1.0MM）	進捗報告会出席、レポートコメント等
アフリカ	アフリカ都市衛生情報収集・確認調査	基礎情報収集調査	8月上旬15日間（0.5MM）	現地状況調査／視察・協議【※案件形成業務】	10日間（0.5MM）	調査方針検討、会議出席、報告書コメント等
パキスタン	パンジャブ州上下水道管理能力強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	—	—	7日間（0.35MM）	報告書コメント等
パキスタン	ファイサラバード上下水道マスタープランプロジェクト	開発計画調査	—	—	7日間（0.35MM）	報告書コメント等
スリランカ	水質管理能力向上プロジェクト	技術協力プロジェクト	—	—	7日間（0.35MM）	報告書コメント等
スリランカ	下水セクター開発計画策定プロジェクト	開発計画調査	8月下旬7日間（0.23MM）	現地状況調査／視察・協議【※実施中案件の監理・事業評価に係る業務】	14日間（0.7MM）	報告書コメント等
全世界	その他、新規事業及び提案型事業案件	有償/無償資金協力、技術協力、提案事業	① 6月下旬7日間（0.23MM） ② 9月下旬10日間（0.33MM） ③ 1月中旬11日間（0.37MM） ④ 2月中旬7日間（0.23）	情報収集確認調査【※案件形成・立上げ業務】	① 7日間（0.35MM） ② 7日間（0.35MM） ③ 7日間（0.35MM） ④ 7日間（0.35MM）	協力内容についての助言（案件形成・案件立上げに係る業務）、技術的妥当性の検討、提案型事業案件への助言
全世界	KMN 下水タスク（下水道ポジションペーパー策定を含む）	その他	—	—	16日間（0.8MM）	下水タスク業務、勉強会講師
合計			2.70MM（計81日間）		5.25MM（105日）	

総合計：7.95MM